

Q10.

がん検診についてお聞きします。

がん検診は何歳から受ければよいと思いますか。

それぞれのがんについて、あてはまる年代を選択してください。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

| | 19歳以下 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳以上 | 受ける必要はない |
|-------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 胃がん | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 肺がん | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 大腸がん | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 子宮頸がん | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 乳がん | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

Q11.

がん検診を受診する際、どのような機会を受診したいですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 区市町村のがん検診
- 職場のがん検診
- 人間ドックなど個人的に医療機関で受診
- その他

Q12.

がん検診は健康な人が受けるものであることを知っていますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 知っている
- 知らない

Q13.

がん検診にはメリットとデメリットがあることを知っていますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 知っている
- 知らない

Q13s2.

次の項目は、がん検診のメリット・デメリットのどちらだと思えますか。項目ごとに、いずれかを選択してください。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

| | メリット | デメリット |
|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 早期発見でき、早めに治療ができる | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| がんになる前の状態(ポリープ等)を発見し、治療することでがんを防止できる | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 「がんがない」ことを確認でき、安心できる | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 検診でがんが100%見つかるわけではない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 検診で「がんの疑い有」とされ、精密検査を受けたらがんではなかった | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 検査による放射線被曝 | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

Q14.

あなたが、もし、がん検診で「要精密検査」とされた場合、精密検査を受けますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 受ける
- 受けない

Q14s2.

問14で「受けない」と回答された方にお聞きします。
精密検査を受けない理由は何ですか。

(いくつでも) 【必須】

- 忙しいから (仕事、家事、育児、介護等)
- 自覚症状が無いので、大丈夫だと思うから
- がんが見つかったら怖いから
- 心配になったらいつでも医療機関を受診できるから
- 精密検査をどこで受ければいいのか分からないから
- 費用が高いから
- その他

Q15.

がん検診について、東京都からどのような情報が得られるとよいと思いますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 専門用語の説明やデータの見方の説明
- がん検診受診率等の過去数年間の変化
- がん検診に関する自治体の取組が比較できる情報
- がん検診に関する最新の文献・研究論文の紹介
- その他

Q16.

あなたは「肝炎ウイルス」を知っていますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 内容を知っている
- 聞いたことがある
- 知らない

Q17.

「肝炎ウイルス」について、あなたのお考えをお聞かせ下さい。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

| | すごく 思う | 多少 思う | あまり 思わない | 思 わ な い |
|-----------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 肝炎から肝硬変、肝がんになる可能性がある | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 肝炎になっても自覚症状はない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 肝炎になったら治らない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 肝炎は、咳、抱き合う及び食器の共有など通常の社会生活では感染しない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 近年、若年層を中心に性感染等によるB型肝炎の感染が増加している | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

Q18.

あなたはこれまでに、肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 受けたことがある
- 受けたことがない
- わからない

Q18s2.

問18で「受けたことがある」と回答された方にお聞きします。

あなたが受けたことがある肝炎ウイルス検査はどの検査ですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- B型肝炎ウイルス検査
- C型肝炎ウイルス検査
- B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査の両方
- 分からない、憶えていない

Q18s3.

問18で「受けたことがある」と回答された方にお聞きします。

検査はどこで受けましたか。

(いくつでも) 【必須】

- 区市町村の施設 (保健所、保健センター、役所等)
- 肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関 (病院・診療所)
- 肝炎検査以外の目的で行った医療機関 (病院・診療所)
- 職場内
- 日本赤十字社の血液センター (献血ルーム等を含む)
- その他
- 分からない、憶えていない

Q18s4.

問18で「受けたことがない」と回答された方にお聞きます。
あなたが検査を受けない理由はなんですか。

(いくつでも) 【必須】

- 忙しいから
- 検査に行くのが面倒だから
- 費用がかかるから
- 検査ができる場所が分からないから
- 検査方法を知らないから
- 職場の検診内容に無かったから
- 自分は感染していないと思うから
- 悪い結果を言われるのがこわいから
- 心配なときはいつでも医療機関を受診できるから
- 夜間や休日などに受診できないから
- その他

Q19.

お住まいの区市町村で肝炎ウイルス検査を受けることができるのを知っていますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 知っている
- 知らない

Q20.

肝炎ウイルス検査を受けるとしたら、どのような機会に受けたいですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 住民(区市町村)健診と合わせて受けたい
- 職場の健診と合わせて受けたい
- 人間ドックで受けたい
- その他

Q21.

多くの方ががんにかかっているにも関わらず、大人も含めてがんに関する正しい知識を得る機会は多くはありません。

そのため、学校での健康教育の中で、子どもの頃から、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう、国において「がん教育」の実施に向けた取組が進められています。こうした教育は必要だと思いますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 必要だと思う
- 必要だと思わない
- わからない

Q21s2.

問21で「必要だと思う」と回答された方にお聞きします。

がんを正しく知り(理解し)、予防に活かすために、子どもに対する「がん教育」をいつから始めるのがふさわしいと思いますか。ふさわしいと思う時期を選択してください。

(ひとつだけ) 【必須】

- 小学校低学年から
- 小学校中学年から
- 小学校高学年から
- 中学生から
- 高校生から
- 大学生以上

Q22.

あなた自身や家族が「がん」になった場合、どういった環境が整っていることが望ましいと思いますか。次の項目から3つ選択してください。

(3つ選択) 【必須】

- 専門的な治療を提供する機器や施設を備えた病院が整備されていること
- がん医療について専門的な知識を有する医師や看護師などの医療従事者がいること
- がんによる身体的苦痛や精神的な不安をすぐに軽減してくれること
- 自分の症状や治療法について、他の病院の医師に意見を求められる(セカンドオピニオン)体制が整っていること
- がん医療に関する情報を容易に収集できる窓口や手段が整っていること
- がん患者や家族が、治療法や不安なことを気軽に相談できる窓口があること
- 高度ながん医療を提供する病院、地域の病院、かかりつけ医(身近で気軽に相談できる医療機関)などが連携し、安心して受診や転院ができる体制が整っていること
- 住み慣れた家庭や地域で療養ができるような在宅医療の体制が整っていること
- 自分が望む療養場所が、自分の意志で選択できること

Q23.

がん医療は以前よりも進歩していると感じますか(思いますか)。

(ひとつだけ) 【必須】

- そう思う
- そう思わない
- わからない

Q24.

がんの治療においては、緩和ケアも重要な治療です。

「緩和ケア」について、どのようなイメージがありますか。

(いくつでも) 【必須】

- 「緩和ケア」は、がんやがんの治療による身体の痛みを軽減することである
- 「緩和ケア」は、がんの治療などによる身体の痛みだけでなく、不安などの精神的苦痛や、医療費・仕事などに関する社会的苦痛による痛みやつらさを軽減することである
- 「緩和ケア」は、がんが進行し、治療ができなくなった場合の最後の手段である
- 「緩和ケア」は、がんと診断された時から受けられるものである
- がんの治療と「緩和ケア」は、どちらかしか受けられない
- 「緩和ケア」とはホスピスのことである
- 「緩和ケア」を受けるには、高額な費用がかかる
- 「緩和ケア」では、モルヒネなどの麻薬を用いるため、中毒症状がみられるようになる

Q25.

あなたがもし「がん」になり、人生の最終段階（終末期）を迎えることとなった場合、終末期をどこで過ごしたいと思いますか。

(ひとつだけ) 【必須】

- 病院
- 緩和ケア病棟（ホスピス）
- 自宅
- その他
- わからない

Q26.

「小児がん」とは、15歳以下の小児に発生するがんの総称です。
小児がんは、大人がかかるがんとは異なる特徴が多くあります。
小児がんに関する次のことについて、知っていますか。



(横にそれぞれひとつずつ) 【必須】

| | 知っている | 知らない |
|---|-----------------------|-----------------------|
| 小児がんは、大人のがんに比べてかかる人が少なく、希少ながんである | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 大人に多い胃がんや肺がんなどは、小児がんではほとんど見られない | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 小児がんは医療の進歩により、かなり(70~80%)が治ると言われている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 小児がんは大人のがんに比べて進行が速い | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 小児がん患者では、薬や放射線などの治療による副作用により、治療が終わったあとに、成長や神経麻痺、合併症が現れたり、新たながんが引き起こされることがある | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

Q27.

あなたやあなたの身近な人がもし、がんになられた場合、がんに関する情報をどのように収集すると思われるですか。

(ひとつだけ) 【必須】

- インターネット
- 出版物(書籍・新聞等)
- テレビ
- その他

Q27s2.

問27で「インターネット」と回答された方にお聞きします。

あなたは、どのようなウェブサイトを確認すると思われますか。（3つまで選択可）

（3つまで）【必須】

- 行政のウェブサイト
- がんの専門病院やがんの治療実績のある病院のウェブサイト
- 医師や学者が執筆したウェブサイト
- がん経験者や患者団体のウェブサイト
- がんに関する情報を集める様々な情報をとりまとめたウェブサイト
- その他

Q28.

「全国がん登録」とは、医療機関等から全国のがんの罹患情報等を集約し、がんの発病、死亡に至るまでの情報を収集・分析することによって、予防や検診も含めたがん対策の効果的な計画・企画や評価に役立てるものです。

あなたは「全国がん登録」を知っていますか。

（ひとつだけ）【必須】

- 内容を知っている
- 聞いたことはあるが内容は知らない
- 聞いたことがない

Q29.

全国がん登録を進めることによってあなたは何を期待しますか。（もっとも期待する項目をひとつ選択してください。）

（ひとつだけ）【必須】

- がん罹患率や生存情報の公開
- がん検診の実効性の検証
- がん医療の質の向上
- 地域の実情に合わせたがん医療の普及
- その他

Q30.

がんに関する予防、早期発見、医療など、がん対策に関する御意見を自由に記載ください。（具体的に記載してください。）

【ご自由に】

ご意見

本調査の設計、実施、集計及び分析は、次に委託実施しました。
株式会社 アイデア・プロジェクト